

## English follows Japanese

### 創世記 16章 1～16節 人の拒絶にも、神の受け入れ

- 1.アブラムの妻サライは、アブラムに子を産んでいなかった。彼女にはエジプト人の女奴隷がいて、その名をハガルといった。
- 2.サライはアブラムに言った。「ご覧ください。主は私が子を産めないようにしておられます。どうぞ、私の女奴隷のところにお入りください。おそらく、彼女によって、私は子を得られるでしょう。」アブラムはサライの言うことを聞き入れた。"
- 3.アブラムの妻サライは、アブラムがカナンのに住んでから十年後に、彼女の女奴隷であるエジプト人ハガルを連れて来て、夫アブラムに妻として与えた。"
- 4.彼はハガルのところに入り、彼女は身ごもった。彼女は、自分が身ごもったのを知って、自分の女主人を軽く見るようになった。
- 5.サライはアブラムに言った。「私に対するこの横暴なふるまいは、あなたの上に降りかければよいのです。この私が自分の女奴隷をあなたの懐に与えたのに、彼女は自分が身ごもったのを知って、私を軽く見るようになりました。主が、私とあなたの間をおさばきになりますように。」
- 6.アブラムはサライに言った。「見なさい。あなたの女奴隷は、あなたの手の中にある。あなたの好きなようにしなさい。」それで、サライが彼女を苦しめたので、彼女はサライのもとから逃げ去った。
- 7.主の使いは、荒野にある泉のほとり、シュルへの道にある泉のほとりで、彼女を見つけた。
- 8.そして言った。「サライの女奴隷ハガル。あなたはどこから来て、どこへ行くのか。」すると彼女は言った。「私の女主人サライのもとから逃げているのです。」
- 9.主の使いは彼女に言った。「あなたの女主人のもとに帰りなさい。そして、彼女のもとで身を低くしなさい。」
- 10.また、主の使いは彼女に言った。「わたしはあなたの子孫を増し加える。それは、数えきれないほど多くなる。」
- 11.さらに、主の使いは彼女に言った。「見よ。あなたは身ごもって男の子を産もうとしている。その子をイシュマエルと名づけなさい。主が、あなたの苦しみを聞き入れられたから。
- 12.彼は、野生のろばのような人となり、その手は、すべての人に逆らい、すべての人の手も、彼に逆らう。彼は、すべての兄弟に敵対して住む。」
- 13.そこで、彼女は自分に語りかけた主の名を「あなたはエル・ロイ」と呼んだ。彼女は、「私を見てくださる方のうしろ姿を見て、なおも私がここにいるとは」と言ったのである。
- 14.それゆえ、その井戸はベエル・ラハイ・ロイと呼ばれた。それは、カデシュとベレデの間にある。
- 15.ハガルはアブラムに男の子を産んだ。アブラムは、ハガルが産んだその男の子をイシュマエルと名づけた。
- 16.ハガルがアブラムにイシュマエルを産んだとき、アブラムは八十六歳であった。"

### Let's pray...

今日の私たちの聖句は単純明快に私たちにこう宣言しています。

アブラムの妻サライは、アブラムに子を産んでいなかった。今週、私たちが取り組んでいるこの創世記 16章の聖句は思いのほか簡単ではありません。多くの夫や妻にとりとても難しいテーマです。多くの夫婦が不妊に悪戦苦闘しています。多くの夫婦が私たちの教会、YIBCでも不妊症や子供を授けられないことに苦しんでいるか、悪戦苦闘した経験を持っています。ベスと私はこの分野で神が結婚後 17年目にブラッドリーを授けて下さるまで苦しみました。皆さんに理解してほしいのはこの聖句を読む時、今日でも多くの妻と夫がこの子供ができないという精神的につらい難問に取り組んでいるのと同様にサライが苦しんでいることを聖書はとても明確にしている事です。

そして、思い出してほしいのは、先週、私たちはアブラハムの驚くべき神との体験を見たばかりであることです。そこで、彼の信仰は新たにされ、[創世記 15章 6節](#)で、こう宣言されていま

す。"アブラムは主を信じた。それで、それが彼の義と認められた。そして、彼が神を信じたことはこの相続人、神が約束された大いなる国民となる息子を持つことです。しかし、今、ここで見るのは、アブラムが信仰によって歩んでいるように見えないことです。しかし、もう少しよく見ると、それは信仰の欠如ではなく、その代わりにアダムとイブに見たものと同じパターンが起こっているようであることです。創世記 3章 17節で神はアダムに言われます。"また、人に言われた。「あなたが妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、大地は、あなたのゆえにのろわれる。あなたは一生の間、苦しんでそこから食を得ることになる。"

この第2節で、アブラムが同じことをするのを見ます。こう書かれています。アブラムはサライの言うことを聞き入れた。

これが私がなぜそれが彼の信仰の失敗ではないと言う理由です。女性の皆さんとここで厄介なことになる前に言います。夫のみなさん方、奥さんの言うことに耳を傾けるべきです。私たちはよく冗談で、幸せな妻は幸せな夫婦人生と言います。夫は妻をキリストが教会を愛したように愛するよう命令されています。しかし、ここで皆さんに理解してほしいのは、彼の妻を神の御心に適った方法で導くことができなかつた事がこの困難な状況に導いたことです。更に理解しなければいけないことはこの慣習は当時のこの地域の文化では不妊の解決策として通常の事であったことです。聖書では以前にも、一人の男性が複数の妻を娶るのを見てきました。そして、初めから、神の御計画は一人の男性が一人の女性と結婚して自然寿命を独占的契約関係のうちに過ごすことであると指摘しました。しかしながら、旧約聖書では一人以上の妻を持つことは直接的には断罪されていません。しかし、常に心痛やいざこざの原因となっています。

ここまでにこの物語の2つの局面は私たちに直接当てはまり学ぶことができます。一番目は、アブラムが、アダムのように彼の責任において彼の妻を神の御心に適った導きを与えなかつたことです。さて、念のために言いますが、私たちは夫として、教会を死ぬほどまで愛されたイエス・キリストに倣って僕として仕えるリーダーであるべきです。私たちが神の栄光を現す御心に適った決断を下す信者であれば、わたしたちには家族をリードする責任があります。信者でない夫を持つ妻たちは、それでも、夫を尊敬し、彼らのリーダーシップが神の命令に反しなければ服従すべきです。その家であなただけは聖霊が宿る者として神の御心に適った価値観とキリストのような振る舞いをあなたの家庭、特に子供たちに注入する責任と機会があります。しかし、あまりにも多くのクリスチャンの夫たちが彼らの家庭での霊的リーダーとしての役割を果たすことを拒否しています。ガラテヤ人への手紙は明確に男性と女性は神の眼からは平等であり、キリストの体でも同様であると示しています。3章 28節

"ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由人もなく、男と女もありません。あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです。

しかし夫と妻はエペソ 5章で異なった役割を持つと説明されています。夫たちは霊的に導き、キリストが教会果たす役割をその家での役割として果たします。

"キリストが教会のかしらであり、ご自分がそのからだの救い主であるように、夫は妻のかしらなのです。"

ここに私たちが考えなければいけない第二の側面ありますが、どのように臨むかによって、意見の対立が起こるかもしれません。彼らの不妊症に対する文化的な反応は現在の私たちから見れば非難に値します。

夫に父親として子供を作るために何某かの法的関係をほかの誰かと築くことを許します。サライとアブラムは彼らの文化が子供がいない状態に対処する正しい方法として受け入れられていたことをただけです。冒頭にお伝えしたように、子供に恵まれないことがどれほど、辛く心の痛むことか私は知っています。しかし、クリスチャンとして、私たちが不妊にどのように対処するか、神の御心と手段を求めるべきです。今日、不妊治療は多くの様々な方法があります。そして、中にはサライとハガルに見る古代の慣習に近いものもあります。代理出産であろうと、提供された卵子や精子を利用しようと、体外受精または人工授精であろうとも、どれもある程度 道德的問題が関連してきます。



それらに対して、聖書的に反対を主張するつもりはありません。しかし、あなた自身が神が何とおっしゃっているのかを祈りで聞き祈りのうちに判断をするべきです。人の命が、聖書が教えるように、受胎した時に始まるなら、医学的進歩によって胎芽を作り出すことを私たちがどのように判断するかについては聖書的な疑問を投げかけねばなりません。出生前に胎児の遺伝子構造により多くの遺伝子操作が可能となっている現在、さらに多くの疑問や疑念が生じるはずで、エレミヤ記 1 章 5 節で神は信じられない告知をエレミヤに向かってされます。

エレミヤ書 1 章 5 節 "「わたしは、あなたを胎内に形造る前からあなたを知り、あなたが母の胎を出る前からあなたを聖別し、国々への預言者と定めていた。」"

神にとり、偶然や事故で生まれる子はありません。神はすべての受胎、すべての出産を計画され知っておられます。さて、神は私たちにこの問題について助けとなる現代科学を与えられました。どの子も、神からの賜物ですが、しかしどの助けも神の栄光を現すわけではありません。

この真理はサライとアブラハムの決心の結果が美しく突き抜けてくるのを見るでしょう。最初の結果は彼らの計画がうまくいったことです。彼らはすぐにハガルを通してくる息子を持ちます。4 節は言います。彼はハガルのところに入り、彼女は身ごもった。これは良い知らせであるべきですこれはサライとアブラハムの問題の答えとなります。違いますか。彼らには子供が与えられました。しかし、結婚に関して神の御計画に反する計画はすべて、そうであるようにこれも問題山積です。ハガルが妊娠していることは彼女とサライの間に妬みの火をつけました。そして、今一度、アブラムが彼の家の霊的リーダーとして機能していないことを彼の憤る妻への 6 節で彼の子を身ごもっているハガルをサライが好きなように対処すればよいと答えることで見ます。彼はこう言います。見なさい。あなたの女奴隷は、あなたの手の中にある。あなたの好きなようにしなさい。そして、サライが彼女自身が望む子を従わざるをえなかった女性に母となるように頼み、その後、彼女から取り上げ自分の物にする計画の後に、彼女を虐待しました。6 節はこう言って終わります。

サライが彼女を苦しめたので、彼女はサライのもとから逃げ去った。

サライの身ごもっている召使に対する虐待はあまりにもひどく、ハガルは逃げ出します。ここで私たちは神の憐みと神の恵みがハガルと彼女のまだ生まれぬ子どもにととてもやさしく、温情厚く現されます。彼女は虐待する家から逃げ出し、だれも彼女を探すことができないかもしれません。しかし、神から逃げることは出来ません。初めてここ 7 節で、旧約聖書で 48 回、創世記で 6 回出てくる主の御使いを見ます。主の使いは彼女に言った。私たちは旧約聖書で具体的にこの主の御使いが誰であるかは知らされていません。今ここで、私の解釈をお伝えします。これはイエス・キリスト御自身の新約聖書以前の出現であり多くの聖書学者がこの考えを支持しています。ここでもまたほかの旧約聖書の箇所でも主の御使いが現れる度にイエス様であったと考えれば合点がいきます。主の御使いは神に代わって語っているとは主張しませんが、神として語っておられます。彼はハガルに神がこう言われたとは言わずに、9 節で彼女にこう言います。「あなたの女主人のもとに帰りなさい。そして、彼女のもとで身を低くしなさい。」そして 13 節で、ハガルは御使いを主と呼び、また、彼を神と呼びます。聖書は言います。彼女は自分に語りかけた主の名を「あなたはエル・ロイ」と呼んだ。普通の天使は聖書で触れられるときは決して神としては触れられません。御使いたちはまた決して自分たち自身で権威を持った命令を与えることはありません。一番自然なのはイエス御自身の聖書での最初の登場が絶望の中妊娠しているこの不憫で打ちひしがれ、虐待された女性の前であることです。そして、彼が彼女に伝える事は私たちに、一番身分の低い者、そして生まれてさえいない、望まれていない子供たちへの神の愛と思いやりを私たちに示します。神の彼女へのメッセージは彼女の息子はアブラムが求めている約束の息子ではないが、神は彼も祝福され、彼を大いなる国民にすることでした。最終的にアラブ文明はイシュマエルから来ます。そして、私たちが知るところの現在まで中近東でユダヤ人とアラブ人の間に問題が山積しています。

これはイシュマエルと彼の子孫ががどのように彼の異母兄弟と彼の子孫であるイスラエル人またはユダヤ人と関わるかについての聖書にある預言の成就です。

現代のイスラム諸国はこの誕生に起源します。神はイシュマエルを祝福されました。しかし、不幸にもサライとアブラムの行為はやがて生まれてくる約束の息子、イサク、を通して約束の民に心痛を与えました。

実際 ハガルの物語は私たちに神の愛を美しく示してくれます。あなた自身とるに足りない、誰もあなたのことなど眼中になく、気にもしていないと感じているかもしれません。あなたは今日 ハガルが体験したヘブライ語でエル・ロイである神を知る必要があります。その神はご覧になっています。神が見過ごされる人などいません。神にとり、大切でない人などいないのです。 [マタイの福音書 10章 29~31節](#) 29. 二羽の雀は一アサリオンで売られているではありませんか。そんな雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません。 30. あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています。

31. ですから恐れてはいけません。あなたがたは多くの雀よりも価値があるのです。" そして、ヨブ記では、ヨブ記 31 章 4 節で、ヨブは答えを必要としない問いかけをします。 [ヨブ記 31 章 4 節](#)

"神は私の道をご覧にならないだろうか。私の歩みをすべて数えておられないだろうか。" その答えはもちろん、はいです。神はご覧になっており、ご存じです。神はあなたがどんな経験をしているか、ハガルの状況をご存じのように知っておられます。神はハガルに彼女の逃げ出した状況に戻るよう伝えました。しかし、今度は、彼女の神が共にいて下さることを知り、信頼して。彼女はたとえその時点でまだ書かれていませんでしたが、詩編 23 篇 4 節の言葉を信頼することができます。 [詩篇 23 篇 4 節](#) "たとえ死の陰の谷を歩むとしても私はわざわいを恐れません。あなたがたにもおられますから。あなたのむちとあなたの杖それが私の慰めです。

知っていただきたいのは、あなたが他の誰にも拒絶されたとしても、神はあなたをご覧になり、あなたを知りながら、あなたを神の実の子として受け入れられます。アブラハムがハガルに生まれた子イシュマエルを最終的に彼の子として受け入れたように。しかし、神の御前であなたは決して拒絶されることはありません。ここでもう一つ応用させてください。もし、あなたが計画になかった妊娠をされており、いま子供を望んでいないとしても、神はその子の事を受胎前からご存じでした。あなたの子は神にとりとても大切に、その子は神に愛され受け入れられています。神がその子のために意図されている人生を与えられるべきです。妊娠中絶の罪にも赦しはあります。しかし、神があなたを愛され、あなたに与えられたその子も愛されていることを知ってください。

神の愛を体験する方法と私たちの人生で神の臨在を神の御子イエス・キリストを通して知ることができます。イエス・キリストこそがアブラハムそして約束された息子イサクを通して来る究極の約束された息子でした。イエス・キリストは十字架に架かり、父なる神が彼から御顔を背けた時、彼は究極の拒絶に面しました。彼は私たちの罪をすべて御自身に負われ、彼の血を罪の代償として流され、罪のための罰を受けられました。そうされた時、彼は叫ばれました。 [わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか](#)。イエスは私たちが彼の信仰を通して完全なる受け入れと赦しを与えられるように、この拒絶に向かわれたのです。今日、この礼拝式の結びに私たちはイエスの死を覚えて主の晩餐、聖餐式によって交わり、キリストにおける兄弟姉妹と霊的にこの食卓を囲みます。今回も密封包装されたパンと杯のカップを使用します。執事が礼拝堂の四隅からお配りしますので、私たちが祈り杯がいきわたった後に、共にパンに与り、そして、杯に与ります。あなたがイエスを知っており、従順に洗礼を授かっていれば、ぜひ参加してください。親御さんは子供たちがまだ準備が整っていないければ、参加はさせずに、聖餐式の重要性を教えてあげてください。祈り、心を一つにしてキリストの死を覚えましょう。

## Genesis 16:1-16 Human rejection, but God's acceptance

**16** Now Sarai, Abram's wife, had borne him no children. She had a female Egyptian servant whose name was Hagar. <sup>2</sup> And Sarai said to Abram, "Behold now, the Lord has prevented me from bearing children. Go in to my servant; it may be that I shall obtain children<sup>[a]</sup> by her." And Abram listened to the voice of Sarai.<sup>3</sup> So, after Abram had lived ten years in the land of Canaan, Sarai, Abram's wife, took Hagar the Egyptian, her servant, and gave her to Abram her husband as a wife. <sup>4</sup> And he went in to Hagar, and she conceived.

And when she saw that she had conceived, she looked with contempt on her mistress.<sup>[b]</sup> <sup>5</sup> And Sarai said to Abram, "May the wrong done to me be on you! I gave my servant to your embrace, and when she saw that she had conceived, she looked on me with contempt. May the Lord judge between you and me!" <sup>6</sup> But Abram said to Sarai, "Behold, your servant is in your power; do to her as you please." Then Sarai dealt harshly with her, and she fled from her.

<sup>7</sup> The angel of the Lord found her by a spring of water in the wilderness, the spring on the way to Shur. <sup>8</sup> And he said, "Hagar, servant of Sarai, where have you come from and where are you going?" She said, "I am fleeing from my mistress Sarai."<sup>9</sup> The angel of the Lord said to her, "Return to your mistress and submit to her."<sup>10</sup> The angel of the Lord also said to her, "I will surely multiply your offspring so that they cannot be numbered for multitude."<sup>11</sup> And the angel of the Lord said to her, "Behold, you are pregnant and shall bear a son. You shall call his name Ishmael,<sup>[c]</sup> because the Lord has listened to your affliction. <sup>12</sup> He shall be a wild donkey of a man, his hand against everyone and everyone's hand against him, and he shall dwell over against all his kinsmen."<sup>13</sup> So she called the name of the Lord who spoke to her, "You are a God of seeing,"<sup>[d]</sup> for she said, "Truly here I have seen him who looks after me."<sup>[e]</sup><sup>14</sup> Therefore the well was called Beer-lahai-roi;<sup>[f]</sup> it lies between Kadesh and Bered. <sup>15</sup> And Hagar bore Abram a son, and Abram called the name of his son, whom Hagar bore, Ishmael. <sup>16</sup> Abram was eighty-six years old when Hagar bore Ishmael to Abram.

**Let's pray**...Our passage today begins very simply by declaring to us that **Sarai, Abram's wife, had borne him no children**. What we're dealing with this week in this passage here in Genesis 16 is not an easy one. It is a very difficult subject for many husbands and wives. Many couples struggle with infertility. Many couples right here in our church at YIBC struggle or have struggled with infertility and the inability to have children. Beth and I struggled in this area as well until God blessed us after 17 years of marriage with Bradley. And I want us to understand as we read this passage that the Bible is being very clear that Sarai is struggling with this inability to have children the same way as many women and even husbands deal with this emotionally difficult issue even today.

Now remember from last week we've just come from Abraham having this amazing experience with God. There, his faith is renewed and it is declared in **Genesis 15:6 that ...he believed the Lord, and he counted it to him as righteousness**. And what he believed God about was this issue of having an heir, having a son who would become this great nation that God has promised. But now, here, we see Abraham seeming to not walk by faith. But when we look a little closer what seems to be happening is not a lack of faith, but instead the same pattern that we see in Adam and Eve. In **Genesis 3:17 God says to Adam, "Because you have listened to the voice of your wife, and have eaten of the tree**



of which I commanded you, 'You shall not eat of it,' cursed is the ground because of you... Now here in verse two we see Abraham do the same thing. It says **And Abram listened to the voice of Sarai.**

This is why I say it doesn't seem like a failure in his faith. Now, before I get in trouble with all the women in here, husbands you should listen to your wives. We sort of jokingly say many times, "happy wife, happy life," and husbands are commanded to love our wives as Christ loved the church. But I want us to see that this failure to lead his wife in a Godly way leads to this difficult situation. You have to understand that this was a practice that was at least somewhat common in the culture around them of that day as a solution to infertility. Now remember in scripture we've seen before where a man would take more than one wife. And, we pointed out then that from the beginning God's plan is for one man and one woman to be married to each other in an exclusive relationship for their natural lives. However, it is not directly condemned in the Old Testament to have more than one wife, but is consistently shown to lead to heartache and trouble.

There are two aspects of this story so far that are directly applicable to us today to learn from. The first is that Abraham just as Adam failed in his responsibility as a husband to lead his wife in a godly way. Now, to be sure, our leadership as husbands must be done as servant leaders following the example of Jesus Christ who loved the church to the point of dying for her. But we still have an obligation to lead our families if we are believers to make Godly decisions that bring glory to God. For wives whose husbands are not believers you have the obligation still to respect your husband and unless it goes against God's commands, to submit to their leadership. But you also as the one in the house with the Holy Spirit have a responsibility and opportunity to inject Godly values and Christlikeness into your family, especially in the case of your children. But, far too many Christian husbands have rejected their role to be the spiritual leader of their families. [Galatians 3:28](#) clearly shows that men and women are equal in God's sight and in the body of Christ. [It says, There is neither Jew nor Greek, there is neither slave nor free, there is no male and female, for you are all one in Christ Jesus.](#) But husbands and wives have different roles as laid out in Ephesians 5. And the husband is to lead spiritually, as he fulfills the role in their house that Christ fulfills to the church. [Ephesians 5:23 says, For the husband is the head of the wife even as Christ is the head of the church, his body, and is himself its Savior.](#)

There is a second aspect here that we need to think about although I know there will be disagreements in how we may approach it. Their culture's response to infertility was to do something that most of us would find reprehensible now. Find someone else to allow the husband to have some sort of legal relationship with to father a child. Sarai and Abram both just did what their culture accepted as the right way to deal with not having children. As I started out, I know that it is difficult and extremely painful when you cannot have children; but as Christians, we must seek God's will and his way for how we respond to that infertility. We have a lot of different methods today for treating infertility, some of which come close to this same ancient practice we see with Sarai and Hagar. Whether it is surrogacy, using donated eggs or sperm, or IVF, to some extent IUI, all of those have moral concerns related to them.

I am not going to try to make a Biblical case for or against any of them, but, you should seek to understand what God is telling you as you make these decisions with much prayer. If human life begins at conception, which is what the Bible teaches, then medical advancements that create embryo's should cause us to ask Biblical questions that relate to the decisions we make. It should cause us to ask questions as we get to a time where we can do more and more genetic manipulation within a child's genetic structure before birth. In [Jeremiah 1:5](#), God makes the incredible statement to Jeremiah, "[Before I formed you in the womb I knew you.](#)" There is no child that is an accident to God. God plans and knows every conception and every birth that will take place. Now, God has given us modern science which can help with this problem. But not every type of help brings glory to God, even though every child is a gift from God.

This truth comes through so beautifully as we see the effects of Sarai and Abram's decision. The first effect is that their plan worked! They would have a son through Hagar. Verse 4 tells us, [And he went in to Hagar, and she conceived.](#) This should be great news! This would be the answer to Sarai and Abram's problem, right? They have a child. But, no. Like any plan regarding marriage that goes against God's plan this one is full of problems. Hagar being pregnant just fuels jealousy between her and Sarai. And again, we see Abram, not being the spiritual leader in his house in any way as his answer to his angry wife in verse 6 is to treat Hagar, who is pregnant with his child any way she wants. He says, [Behold, your servant is in your power; do to her as you please.](#) And how she decided to treat this lady who likely with little choice was asked to become a mother to the child that Sarai wanted and planned to take from her and make him her own, was to abuse her. Verse 6 ends by telling us, [Then Sarai dealt harshly with her, and she fled from her.](#) Her abuse towards her now pregnant servant is so bad that Hagar runs away.

But this is where we begin to see God's mercy and God's grace displayed to Hagar and her unborn child in such a compassionate and tender way. She may have run away from an abusive house so that they couldn't find her, but it was not away from God. For the first time in verse 7, we see this "angel of the Lord" who appears in the Old Testament 48 times, 6 times in Genesis. It says, [The angel of the Lord found her by a spring of water in the wilderness.](#) We are not told specifically in the Old Testament who this angel of the Lord is, But I am going to tell you my interpretation, backed up by many Bible scholars that this is a pre-New Testament appearance of Jesus Christ himself. It fits with what we see here and every other time the angel of the Lord appears in the Old Testament.

The angel of the Lord does not claim to speak for God, but speaks as God. He doesn't say to Hagar that God says something, he tells her in verse 9, [Return to your mistress and submit to her.](#) Then in verse 13, she refers to the angel as Lord and calls him God. The Bible says, [So she called the name of the Lord who spoke to her, "You are a God of seeing..."](#) Regular angels when referred to in Scripture are never referred to as God, nor do they give authoritative instruction on their own. What fits here is that Jesus himself makes his first appearance in the Bible to this poor broken and abused woman who finds herself hopeless and pregnant. And what he tells her shows us God's love and care for the least important, even unborn, unwanted children. God's message to her is that even though her son is not the promised son that Abram is looking for, God will also bless him and make him into a great nation. Ultimately, the Arab civilizations

come from Ishmael, and as we know there are problems between Jews and Arabs in the Middle East up to the present time.

This fulfills the prophecy found here in Scripture about how Ishmael and his descendants would relate to his half brother and those descendants, the Israelites or Jews. The modern Muslim nations have their origins in this birth. God did bless Ishmael, but unfortunately, this action on the part of Sarai and Abram also meant heartache for the promised people through the promised son, Isaac who would eventually be born. The story of Hagar really shows us God's love in a beautiful way. You may be in a position where you feel insignificant, that no one sees you or cares about you. You need to know today what Hagar experienced that God is his Hebrew name here – El Roi. The God who sees. There is no one that God overlooks, that is unimportant to him. In [Matthew 6:29-31](#), Jesus tells us “Are not two sparrows sold for a penny? Yet not one of them will fall to the ground outside your Father's care. And even the very hairs of your head are all numbered. So don't be afraid; you are worth more than many sparrows.” And in [Job 31:4](#), Job asks the rhetorical question, “Does not he (God) see my ways and number all my steps?” And, the answer of course is yes, he does. God knows what you are going through, just like he knew Hagar's situation. He even told her to go back to her same situation, but this time knowing and trusting that her God was with her. She could trust the words of [Psalm 23:4](#) even though it had not yet been written, [Even though I walk through the valley of the shadow of death, I will fear no evil, for you are with me; your rod and your staff, they comfort me.](#)

Please know that if you feel rejected by everyone else, God sees you and knows you and accepts you as his very own child. Just as Abraham ultimately accepted this child Ishmael who was born to Hagar. But with God, you will never face rejection. And let me take this application to just one more place. If you find yourself in a position of expecting a child you did not plan for and maybe do not at the moment want, God knew that child before he or she was conceived. Your child is precious to God and is loved and accepted by Him and should be allowed the life that God intends for that child. There is forgiveness even for the sin of abortion, but please know that God loves you AND the baby that he has given you.

And the way that we experience God's love, and fully come to know his presence in our lives is through his son, Jesus Christ. Jesus Christ was the ultimate promised son that would come through Abraham, then the promised son, Isaac. Jesus Christ faced the ultimate of rejection when God the Father turned his back to him while he hung on the cross. He was taking all of our sin on himself and shedding his blood to pay the price and bear the punishment for that sin. And as he did, he cried out, “My God, My God why have you forsaken me.” He faced that rejection so that we could find complete acceptance and forgiveness through faith in him. Today, we end by remembering that death in the Lord's Supper or communion where we commune and come together spiritually with brothers and sisters in Christ around this meal. We once again will use the prepackaged elements, which the Deacons will share from the four corners of the sanctuary. Once we pray and everyone is served, we will eat together and then drink together. We invite you to join us if you know Jesus Christ and have been obedient in baptism. For parents the best way to teach your children the importance of communion is not letting them participate if they are not ready. Let's pray and then unite our hearts in remembering Christ's death.